

## 「人を対象とする生命科学・医学系研究についての情報公開文書」

### 研究課題名： チーム基盤型学習で学ぶ漢方

#### ・はじめに

漢方医学は日本において、古来より治療手段として用いられてきた有用性の高い医療体系ですが、コア・カリキュラムに掲載され、全国の医学部で漢方医学教育が行われるようになったのは2011年からであり、医学教育の中では日の浅い分野であります。今や全国の医学部で教育されるに至っていますが、時に学生にとって、漢方医学は言葉や意義など異言語のようで分かりにくく感じることもあるようです。群馬大学では臨床実習前の医学生に漢方を教育するのにチーム基盤型学習（Team Based Learning; TBL）を用いてより臨床をイメージできる形の実習を行なっています。今回、第72回日本東洋医学会学術総会において、「チーム基盤型学習で学ぶ漢方」と題し、医学生含む医療系大学の学生さんに参加していただき実際に実習を行う機会を得ました。実習の終了時に参加者の皆さんにご協力いただきアンケートを実施しました。今回は、そのアンケート結果を解析し、漢方医学 TBL の実用性を評価する一助とし、漢方医学教育の発展に寄与することを目的に本研究を計画しています。

こうした研究を行う際には、血液、組織、細胞など人のからだの一部で、研究に用いられるもの（「試料」といいます）や診断や治療の経過中に記録された病名、投薬内容、検査結果など人の健康に関する情報（「情報」といいます）を用います。ここでは、既に保管されているこうした試料や情報の利用についてご説明します。

#### ・研究に用いる試料や情報の利用目的と利用方法（他機関に提供する場合にはその方法を含みます）について

この研究では、第72回日本東洋医学会学術総会特別企画のうち、「チーム基盤型学習で学ぶ漢方」に参加された学生、教員の皆さんのうち、アンケートに回答いただいた方のアンケートを情報として使用します。このアンケート結果を解析し、今後の漢方医学教育の発展に役立てることを目的としています。

Google Forms で回答いただいた情報は匿名化されており、個人が特定できない状態で回収されています。

#### ・研究の対象となられる方

第71回日本東洋医学会学術総会特別企画のうち、「チーム基盤型学習で学ぶ漢

方」に参加された学生（80名）、教員（20名）の皆さんが対象となります。アンケートの情報は回収時に既に匿名化されています。研究に不同意の申し出は受け付けられませんので、ご了承ください。

#### ・研究期間

研究を行う期間は学部等の長の承認日より2022年9月30日までです。

#### ・研究に用いる試料・情報の項目

第72回日本東洋医学会学術総会の「チーム基盤型学習で学ぶ漢方」の実習後に協力いただいたアンケート結果を情報として用います。

#### ・予想される不利益(負担・リスク)及び利益

この研究を行うことで患者さんに余分な負担が生じることはありません。また、本研究により研究対象者となった患者さんが直接受けることのできる利益及び不利益(リスク)はありませんが、将来研究成果は漢方医学教育の発展に貢献できる可能性があると考えています。

また、今回の研究についての謝礼はありません。

#### ・個人情報の管理について

今回の研究では、回収されたデータは匿名となっており、個人を特定できません。

また、本研究の実施過程及びその結果の公表(学会や論文等)の際には、個人を特定できる情報は含まれません。

#### ・試料・情報の保管及び廃棄

この研究により得られた情報は、総合医療学のPC(学内で使用しロックをかけたPC、管理責任者：佐藤浩子)で保管され、解析を終えた情報は、研究終了後は10年間保存し、保存期間が終了した後にデータ抹消ソフトを用いて廃棄いたします。

#### ・研究成果の帰属について

この研究によって生じた知的財産権は群馬大学大学院医学系研究科総合医療学に帰属します。研究に参加していただいた方に、この権利が生じることはありません。

#### ・研究資金について

この研究を行うために必要な研究費は、群馬大学大学院医学系研究科総合医療

学の講座費から賄われます。対象者に対し経済的負担や謝礼はありません。

・利益相反に関する事項について

研究グループが公的資金以外に製薬企業などからの資金提供を受けている場合に、臨床研究が企業の利益のために行われているのではないか、あるいは臨床研究の結果の公表が公正に行われぬのではないか（企業に有利な結果しか公表されないのではないか）などといった疑問が生じることがあります。これを利益相反（患者さんの利益と研究グループや製薬企業などの利益が相反している状態）と呼びます。この研究の利害関係については、群馬大学利益相反マネジメント委員会の承認を得ております。また、この研究過程を定期的に群馬大学利益相反マネジメント委員会へ報告などを行うことにより、この研究の利害関係について公正性を保ちます。この研究に関する利益相反はありません。

・「群馬大学 人を対象とする医学系研究倫理審査委員会」について

この研究を実施することの妥当性や方法については、多くの専門家によって十分検討されています。群馬大学では人を対象とする医学系研究倫理審査委員会を設置しており、この委員会において科学的、倫理的に問題ないかどうかについて審査し、承認を受けています。

・研究組織について

この研究は、群馬大学大学院医学系研究科総合医療学の漢方医学教育研究の一環で行なっています。

この研究を担当する研究責任者、研究分担者は以下のとおりです。

研究責任者

所属・職名： 総合医療学・講師

氏名： 佐藤浩子

連絡先： 〒371-8511 前橋市昭和町 3-39-15

TEL&FAX 027-220-8666

研究分担者

所属・職名： 総合医療学・教授

氏名： 小和瀬桂子

連絡先： 〒371-8511 前橋市昭和町 3-39-15

TEL&FAX 027-220-8666

**研究分担者**

所属・職名： 医学教育センター・准教授  
氏名： 岸 美紀子  
連絡先： 〒371-8511 前橋市昭和町 3-39-15  
TEL&FAX 027-220-8666

**研究分担者**

所属・職名： 検査部・講師  
氏名： 常川 勝彦  
連絡先： 〒371-8511 前橋市昭和町 3-39-15  
TEL&FAX 027-220-8666

**・ 研究対象者の権利に関して情報が欲しい場合あるいは健康被害が生じたときに連絡をとるべき相談窓口について**

研究対象者がこの研究および研究対象者の権利に関してさらに情報が欲しい場合、または研究対象者に健康被害が発生した場合に、研究対象者が連絡をとる担当者は下記のとおりです。何かお聞きになりたいことがありましたら、どうぞ遠慮なくいつでもご連絡ください。

試料・情報を研究に用いることについて、対象者となることを希望されない方は、下記連絡先までご連絡下さい。研究対象者とならない場合でも不利益が生じることはありません。

**【問合せ・苦情等の相談窓口（連絡先）】**

所属・職名：群馬大学大学院医学系研究科 講師（責任者）  
氏名： 佐藤 浩子  
連絡先： 〒371 8511  
群馬県前橋市昭和町 3-39-15  
Tel：027-220-8666  
担当：佐藤 浩子

上記の窓口では、問合せ・苦情等の他、次の事柄について受け付けています。

- (1) 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法 他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。
- (2) 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続（手数料の額も含まれます。）
- (3) 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明
- (4) 研究対象者から提供された試料・情報の利用に関する通知  
試料・情報の利用目的および利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）  
利用し、または提供する試料・情報の項目  
利用する者の範囲  
試料・情報の管理について責任を有する者の氏名または名称  
研究対象者またはその代理人の求めに応じて、研究対象者が識別される試料・情報の利用または他の研究機関への提供を停止すること、およびその求めを受け付ける方法